

静岡市 地区事務局より

1. コロナ対策で「教室運営上」で工夫したこと

【消毒関係】

- ・手洗い石鹸や消毒用アルコール、ハンドジェルを、入り口や指導室内に用意した。
- ・指導カードに「手洗い・うがい」チェック欄を設け、必ず確認した。
- ・教員が、指導の前後に机や椅子の消毒を行う。→保護者がいる場で行い、安心してもらう。
- ・日直と同様、消毒係を決めて、1日の終わりに全部の消毒を行った（iPadやおもちゃ等も含む）。
- ・生徒、保護者が使用するトイレも消毒を毎日行った。
- ・教室の前に、手洗いとアルコール消毒を促す掲示をした。

【換気】

- ・指導中は、換気をよくする。対角線換気。 ・網戸を設置した。

【飛沫防止】

- ・児童と教師の間に置く透明フィルムの衝立を作成し、使用。
- ・グループ活動で使用するテーブルに、木材等を用いて大型のパーティションを作成し、設置して飛沫への配慮を行った。
- ・フェイスシールドなどの試作、活用。 ・マスクの着用。
- ・通級に来る時の持ち物を徹底してもらうように保護者にお願いした。（基本的には「自分のもの」を使う。スリッパ、鉛筆、うがい用の水筒なども。貸し借りをできるだけ避けてもらう。）
- ・机の配置、座り方、待合の場所の指定などをする。指導時のソーシャルディスタンスの徹底。
- ・ごみからの飛沫の感染を防止するため、ごみ箱にふたを設置した。

【密の回避】

- ・指導形態は、すべて個別指導にした（グループ指導を行わない）。
- ・指導公開を中止した。
- ・指導室や観察室に入る人数の調整をする。（保護者の参観、担任対象の指導公開のとき）

【健康管理】

- ・指導の前に、児童や保護者の体調を確認するようにした。 ・担当者の健康管理に気を配る。

【在籍校との関係】

- ・市教委から出た指示文書にしたがって運営する。
- ・学校再開が決定してから、在籍校訪問を行った（休校期間中は接触を回避した）。
- ・休業期間中に在籍校訪問を行い、Co.や担任、元担任等と情報交換を行った。
- ・在籍校が立て直した教育計画（行事予定）を5月末にもらい、指導日を設定し直した。また9月以降の指導予定をたてるために、7月中旬にもう一度最新の教育計画を送ってもらった。

【保護者・本人対応】

- ・保護者の特性を考慮し、指導日の変更はなるべくシンプルにした。変更するとどの情報が正しいのかわからない保護者が出るため、一番心配な家庭は予定を何も動かさない、次に心配な家庭は電話連絡をする。等対応を考えた。
- ・コロナで保護者もかなり疲弊しているケースもあり対応を考えた。
- ・コロナウィルス関連による不安の解消や保護者の考えを知る機会とするため、保護者連絡を増やしている。

2. コロナ対策で「指導上」で工夫していること・配慮したこと等（1で挙げたことは省略）

【環境・衛生】

- ・机を1m離して、距離を保つようにしている。 ・水道で一緒に石鹸での手洗いをを行う。
- ・指導用のシールド、フェイスシールド、クリアマスク、眼鏡につけるシールドと、指導や、対象の子どもによって使い分けている。
- ・マスクの着用を徹底している。忘れた子どもには、こちらで用意したものを貸し出ししている。
- ・さいころなどの共有物は複数人が使わず、一人の人が使う。
- ・保護者に指導で使うコップ、ストローを用意してもらい、それを使って指導を行っている。また、コップ、ストローの処分も保護者をお願いしている。（言語）
- ・熱中症防止への配慮をしつつ、マスク着用を考える。（運動時にもマスクの着用を勧めている学校においては、安全上の観点から換気をはじめとする環境や本人の様子、運動強度を常に観察し判断して実施する。）（肢体）
- ・サテライト指導で取出し指導を行う時は、場所が選択できる環境では広い(換気状況のよい)空間を確保する。（肢体）
- ・ICT、AT を活用して接触を避けたり減らしたりする。（肢体）

【指導内容】

- ・コロナに対する意識を育てることも自立活動の一つと位置づけ（1-⑤）来級時に確実に予防の指導をしている。（言語・発達）
- ・必要な子には1回目の指導ではコロナウイルスについてや心のケア等資料を用意し対応をした。コロナウイルスについての掲示。（発達）
- ・指導内容の工夫。
「マスクありなしの表情と気持ち→教室だよりにして区の全小学校に配布。
ソーシャルディスタンス（リボンで示す、どれくらい離れたらよいかを確かめる）
エアー握手、エアーハイタッチ 密になる遊びや活動の設定を避ける 人に触らない遊び(遊び方)
- ・休業後の当初指導では生徒のメンタル把握を今まで以上に心がけ、丁寧に聞き取りを行い、寄り添う指導を心掛けた。「コロナうつ」の予防として、「困っていること、不安なこと」などを聞く。
- ・新聞記事などを見せ、嘘の情報に振り回されないよう正確な感染者数や情報を与えるようにした

3. コロナ対策で「研修会」で工夫したこと・今後工夫すること

【オンライン研修】

- ・YouTube、Zoom 等などオンラインで学習できるよう研修会を企画することで、参加者の感染リスクを抑える。また、講師の方が移動なく講演会を行えるため、講師の方の感染リスクもなくなる。
- ・YouTube の公開期間を設定することで、参加者が参加したい日時に観ることができるようになり、参加しやすくなった。
- ・Google Form を使って申し込みを行うことで、オンライン研修会の参加者名簿が簡単に作成できた。また、YouTube の限定公開サイトへの案内もメールで行った。

【従来型の研修会】

- ・席の間隔をあける。 ・窓を開け放して換気をする。 ・入口で手指の消毒を呼びかける。
- ・机の消毒をする。 ・忘れた方用のマスクの用意をする。 ・グループ討議のとき、感覚をあける。

【その他】

- ・ZOOM や YouTube での研修に参加する。 ・近隣の学校と、オンラインで自主研修を行った。